

各関係機関の長 殿

国立精神・神経医療研究センター総長  
(公印省略)

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部  
診断治療開発研究室長の公募について (依頼)

当センターの運営にあたりまして、日頃より格段のご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。さて、この度、当センター精神保健研究所では、薬物依存研究部の室長を公募することとなりました。つきましてはご多用中恐縮に存じますが、貴学及び貴機関において意欲的で適確な方がおられましたら、下記の書類を添えてご応募下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名および人数

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
薬物依存研究部 診断治療開発研究室 室長 1名  
(研究職・任期付年俸制職員)

2. 職務内容

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部では、薬物乱用・依存に関する実態調査を継続的に実施しており、そこで得られた知見にもとづいて、薬物依存の発生要因に係わる精神薬理学的調査研究、ならびに薬物依存の予防及び治療に関する研究を推進してきました。

診断治療開発研究室では、病院部門と連携し、薬物依存の治療法の開発、およびその普及・均てん化のための研修事業の企画・運営、さらには、薬物依存症患者家族の支援に関わる臨床研究を行っています。

3. 応募資格

上記分野の研究および臨床的活動の実績を持ち、今後この分野に関する研究チームのリーダーとして意欲的に研究を企画立案、推進させることのできる方で、精神医学、精神保健学、精神看護学、臨床心理学等の博士号もしくは同等以上の能力を有している方。

4. 採用予定年月日

令和 5 年 4 月 1 日(任期：採用日から 5 年間)

## 5. 提出書類

(1) 履歴書(写真添付 様式自由)

(2) 業績目録

原著、総説、著書、その他に分けてまとめ、学会発表は国際学会、国内学会の別、特別講演及びシンポジウム並びに一般報告に分けてまとめる。また、その他には社会活動、教育活動の有無及びその内容も記載する。

(3) 主要論文3編の別刷(コピーでも可)を5部ずつ

(4) 現在行っている研究及び将来の研究に対する抱負(1200字程度A4版にて作成)

(5) 総長あて推薦状1通

## 6. 選考方法

書類選考並びにセミナー及び面接審査

## 7. 勤務形態及び給与並びに身分

(1) 身分：国立研究開発法人職員(常勤職員) ※6ヶ月間は試用期間です。

(2) 給与：基本給(経験年数により決定します)、地域手当、通勤手当等センター給与規程に基づき支給

(3) 賞与：6月及び12月

(4) 勤務形態：フレックス制、1週38時間45分勤務

(5) 休日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12/29~1/3)

(6) 休暇：年次有給休暇、夏季休暇、病気休暇、忌引等

(7) 保険：共済組合(健康保険、年金)、雇用保険、労災保険加入

(8) 退職手当：有

## 8. 提出締切日

令和4年12月9日(金) 必着

## 9. 書類送付先

〒187-8553

東京都小平市小川東町 4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所長宛

(封筒に「薬物依存研究部 診断治療開発研究室長応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと)

## 10. 問い合わせ先

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

松本俊彦 tmatsu@ncnp.go.jp

TEL 042-346-1943

FAX 042-346-1944

なお、国立精神・神経医療研究センターの概要は <http://www.ncnp.go.jp/> を、薬物依存研究部の詳細は <http://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/> をご参照下さい。